

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	熊本県立大学	個人・グループ名	TEAM きいろ	作品名	食育貯金箱
-----	--------	----------	----------	-----	-------

1. 目的

近年、肥満をはじめとする生活習慣病の若年化が盛んに叫ばれ、「食育」の役割が見直されてきている。給食の時間を主体として食育に力を入れる学校も少なくない中、厚生労働省では「食事バランスガイド」を作り、食生活を見直そうとする活動を進めているが、子ども達が使うにはこのガイドは難しい。今の食生活を見直し、将来、賢い食生活を送るために何か良い教材は作れないかと思い、楽しみながら食生活を見直せるこの「食育貯金箱」を作った。



2. 使い方

投入口(ライオンの口。図 I 参照)に硬貨を入れると硬貨ごとに振り分けられ(図 II)、下の箱に落ちる。硬貨を食べ物にみたて今日食べたものをライオンの胸部分にある料理・硬貨対照表(食事バランスガイドを活用。図 III)で確認し、当てはまる硬貨をその枚数分入れる。そうすることでどんな物をどれだけ食べたのか、自分の食事には何がどれだけ足りないのかを楽しみながら知ることができ、バランスのよい食事を心がけるきっかけになる。



3. 利点・工夫ポイント

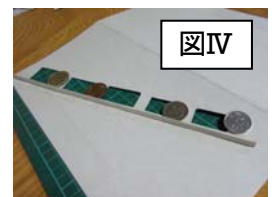
- ① 楽しみながら食育を学べる点。実際に幼稚園児の子どもに使ってもらったが、コインが自動的に振り分けられて落ちるため不思議がって遊んでくれた。また、デザインをライオンにし、かわいく仕上げた。
- ② リサイクル・エコである点。この作品は空箱や厚紙などどれも家にある要らなくなったもので手軽に作る事ができる。リサイクルという観点から図工の時間に制作し、食育という観点から家庭科や総合の時間に教材として使うことができる。図工の題材とする際は、**4. 仕組み**の工程が難しいので、教師はこの点に注意する。

●今回の材料●

・厚紙(B5)×2枚 ・空箱×1箱 ・セロハンテープ ・折紙・フェルト・糸(飾り用)

- ③ 保護者が食事に関心を持つきっかけにもなる点。家庭に持ち帰り、保護者にもバランスのよい食事を考えるきっかけにして欲しい。
- ④ 貯金箱としても利用できる点。貯金箱にもなり、食べた物に合わせてコインを入れるだけでお金がたまる。また、引き出し式なので簡単に取り出せる。

4. 仕組み



胸部分の厚紙に右から1円玉、50円玉、100円・5円玉、10円玉、500円玉の順に硬貨の直径に合わせて長方形の穴をあける。そうすることで、そのサイズの穴から硬貨が落ち、振り分けられる。